

平成 27 年度 編入学・学士入学試験  
 専門科目： 経済学（近代経済学系）

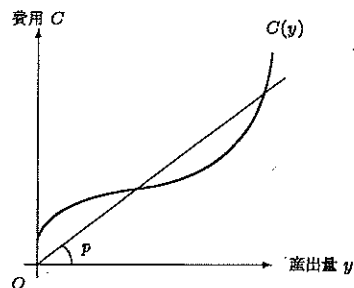
つぎの 3 つの問題すべてに答えなさい。

- [ 1 ] マクロ経済のシステムが、つぎのように与えられているものとする。

国内総生産：  $Y$   
 利子率：  $i$   
 民間消費：  $C = 20 + 0.8(Y - T)$   
 民間投資：  $I = 80 - 100i$   
 政府支出：  $G = 80$   
 輸出：  $EX = 100$   
 輸入：  $IM = 110$   
 租税：  $T = 50$   
 実質貨幣供給量：  $M/P = 300$   
 実質貨幣需要量：  $L = 0.5Y + 100 - 1000i$

このとき、以下の二つの設問に答えなさい。

- (1) 均衡の国内総生産と均衡の利子率を計算しなさい。
  - (2) 実質貨幣供給量が増加して  $M/P = 400$  となったとする。このときの均衡の国内総生産および均衡の利子率を計算しなさい。
- [ 2 ] 経済が「流動性の罠」に陥っているとき、政府支出を増加させる政策は有効か。また、このとき貨幣供給量を増加させる政策は有効か。それぞれ理由がわかるよう、丁寧に説明しなさい。なお、必要に応じてグラフを利用しながら説明すること。
- [ 3 ] 完全競争市場下にある一つの財（その数量  $y \geq 0$ ）を生産している企業がある。以下のグラフはこの企業の短期費用関数  $C(y)$  を描いたものである。



では、この企業の利潤最大化行動を仮定するとき、以下の問に答えなさい。

- (1) 生産物の価格  $p > 0$  がグラフの直線の傾きとして与えられるとき、この企業の最適生産量がどのように決まるか、説明しなさい。なお、必要に応じてグラフを利用しながら説明すること。
- (2) 短期費用関数  $C(y)$  が具体的に

$$C(y) = y^3 - 6y^2 + 15y + 100 \quad (y \geq 0)$$

と与えられ、また生産物の価格が  $p = 6$  であるとき、最適生産量の値はいくつか、求めなさい。

- (3) この企業にとっての「損益分岐点」、ならびに「操業停止点」とは何か、説明しなさい。また、これらの点は上のグラフのどこに位置するか、説明しなさい。

[ 以上 ]